

# 研修全体計画

柳沢小学校研修部

## 1 学校教育目標

主体的に活動し、仲間と協働できる児童の育成

## 2 研究主題

### (1) 年度末の話し合いから

〈研究主題について〉

- ・来年度もこのままでよい。
- ・「主体的な活動」と「学び合い」を同時に研究するのは難しい。どちらかでよいのではないかと思う。
- ・学校教育全体で考えるのか？授業中での人権教育なのか？掴みにくかった。

〈各学年の反省からの課題〉

- ・教科や学級活動、日常生活の中で学んだ人権的な心の成長などを、児童が日常生活の中でどのくらい意識しているか。
- ・知識だけでなく、日常生活の行動に生かすことが大切。
- ・知識を学ぶ研究か、心や行動に表れるものを研究するのが難しかった。  
→どのような姿が見られれば良いのか。
- ・各教科と人権教育をつなげた取り組みの実践をもっと意識できるとよかった。
- ・教科によって指導案の形式が異なる。→積み重ねが生かされない気がする。
- ・視野が広すぎて焦点化がしにくい。視点を絞りたい。

### (2) 本年度の研究主題について

〈人権教育の指導方法等の在り方について【第三次取りまとめ】より〉

人権教育は、各教科等のそれぞれの特質に応じ、教育活動全体を通じてこれを推進していくことが大切である。

【昨年度】

自他を大切にし、協働できる児童の育成  
～主体的な活動や学び合いを通して～



【今年度】

自他を大切にし、協働できる児童の育成  
～人権尊重の視点に立った学級経営・授業づくりを通して～

### 3 研究目標

人権尊重の視点に立った学級経営，授業づくりについて研究し，日常的に実践していく。

### 4 研究仮説

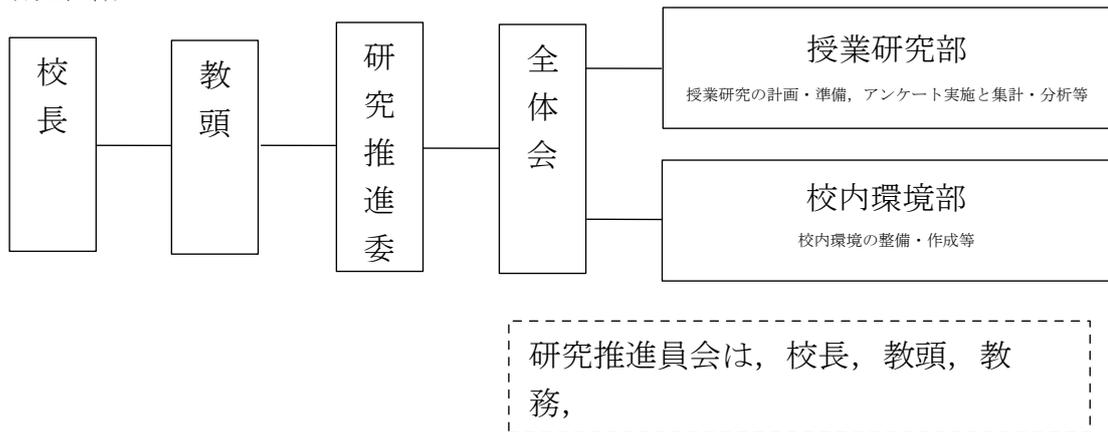
人権尊重の視点に立った学級経営，授業づくりを実践していくことで，児童の人権に関わる資質・能力が育まれ，自他を大切にし，協働できる児童が育成できるだろう。

### 5 めざす児童像

	低学年	中学年	高学年
自他を大切にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いや考えを話せる子</li> <li>○他の人の話をしっかりと聞ける子</li> <li>○自分や友だちのよいところに気づける子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の素直な思いや考えを話せる子</li> <li>○他の人の思いや考えを理解しようとする子</li> <li>○自分や友だちのよいところに気づき，認められる子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手のことを考えて自分の素直な思いや考えを話せる子</li> <li>○他の人の思いや考えを自分のこととして受けとめられる子</li> <li>○互いのよさや違いを認められる子</li> </ul>
協働できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と仲良くする子</li> <li>○自分のことは自分ででき，善悪の判断をしっかりとる子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級や友だちのために行動する子</li> <li>○善悪の判断ができ，自ら正しいと思うことを行動する子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団のために役立つことに喜びを感じられる子</li> <li>○生活の中の不合理に気づき，その解消に向けて自ら判断し，行動する子</li> </ul>

### 6 構成

#### (1) 研究組織



#### (2) 若年層研修

- ・アドバイザー，日程調整等：湯本，松島
- ・若年層研修の計画，実施等：齋藤，稲垣
- ・若年層研修対象：小林，野嶋，丸山，長尾，伊藤，小松崎

### 7 仮説に迫る手立て

#### (1) 土台となる環境づくり：児童が安心して過ごせる学級・学校

- ・柳小スタンダード（学校生活，学習面）の徹底。
- ・教室，校内環境を整える。（5S：整理，整頓，清掃，清潔，しつけ）

→ポイントでの確認（移動や給食，下校後など具体的な場面を示して指導する）

- ・図書館司書との連携
- ・人権に関する掲示物（学級，学年・全校）

**学級** 人権の木など

**学年・全校** 人権コーナー，人権の木など

（例）行事やたてわり活動などを通して児童や教師が感じた気持ち・伝えたい言葉を写真とともに掲示したり，放送したりする。

（2）人権尊重の視点に立った学級経営：

互いに支え合い，高め合いながら，個性や能力を十分に発揮できる学級

- ・「気持ちを表す言葉」，「聞き方・話し方のスキル」などコミュニケーションを円滑にするための手がかりについての指導。
- ・帰りの会などにおける互いの良さを認め合う場の設定。
- ・様々な活動の中で，認め合う姿勢や思いやりのある言葉かけ。
- ・教師が一人一人を受け入れ，「誰一人取り残さない」学校・学級を目指す。など

（3）人権尊重の視点に立った各教科等の授業づくり：一人一人が輝ける授業の実践

- ・人権教育年間指導計画を作成し，年間を見通した指導を行う。
- ・各教科等の目標と「人権教育を通じて育てたい資質・能力」との関連の明確化。など

ど

⇒ **(2) (3) を通して，自他の良さを認め合える人間関係づくりを養う。**

**研究全体構造図**

【学校教育目標】

主体的に活動し，仲間と協働できる児童

【目指す子どもの姿】

自他を大切にし，協働できる児童

人権に関する知的理解  
人権感覚の高まり

学級  
経営

自他の良さを認め合える人間関係

授業  
づくり

環境づくり

